



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社富士ピー・エス

コード番号 1848 URL <http://www.fujiips.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅野 昇孝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 船越 光晴

TEL 092-721-3464

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,388	△10.8	227	△48.0	204	△49.8	161	△54.3
28年3月期第3四半期	17,245	1.2	438	△18.4	407	△22.2	354	△21.9

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 138百万円 (△59.7%) 28年3月期第3四半期 343百万円 (△24.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	9.14	—
28年3月期第3四半期	19.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	20,990	6,416	30.6	362.09
28年3月期	19,329	6,367	32.9	359.29

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 6,416百万円 28年3月期 6,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,810	7.8	525	△15.9	485	△17.3	540	8.8
								30.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	18,602,244 株	28年3月期	18,602,244 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	881,404 株	28年3月期	880,502 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	17,720,930 株	28年3月期3Q	17,722,334 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善など緩やかな回復基調が続いたものの、中国経済の減速や急激な円安の進行による原材料高、消費増税に伴う物価の上昇により消費全般の基調は引き続き楽観できない状況で推移いたしました。

当建設業界におきましては、公共インフラ老朽化対策等の国土強靱化政策関連事業、東京オリンピック・パラリンピック関連事業など公共事業が順調に推移するとともに、民間建設投資も耐震補強事業やマンション事業を中心に回復基調が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは安定経営、成長経営の実現を目指し、技術提案力・積算力の強化によるシェアの拡大、独自技術の開発・強化、事業分野の拡大、生産・施工の省人・省力化による効率化、安全・品質管理への取り組みなど、総力を挙げて行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は14,214百万円(前年同四半期比6.8%減)、売上高は15,388百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。損益面では営業利益227百万円(前年同四半期比48.0%減)、経常利益204百万円(前年同四半期比49.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益161百万円(前年同四半期比54.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

土木事業におきましては、多様化する総合評価落札方式への徹底した対応の強化や連結子会社の主力事業であるPCマクラギ事業に対する営業強化など、グループの総力を挙げて受注高の確保に努めましたが、予定していた大型民間契約の発注が遅れるなどの影響を受けました。売上高につきましては、上半期に他社が起こした事故により工事一時中止指示を受けた影響があったものの、高速道路会社発注工事や民間契約工事の手持工事が順調に進捗したことから、前年同四半期比では増加しました。利益につきましては、発注者との契約協議が順調に進んだ結果、工事採算性が改善しました。

この結果、受注高は8,606百万円(前年同四半期比12.4%減)、売上高は10,900百万円(前年同四半期比5.1%増)、セグメント利益は1,221百万円(前年同四半期比22.7%増)となりました。

建築事業におきましては、回復基調が続いているマンション事業や住宅分野での耐震補強事業及び物流倉庫等のPCaPC事業の営業強化に努めました。また、売上高及び利益につきましては、マンションの着工の遅れに伴いFR板の製作に遅れが生じるなどの影響を受けました。

この結果、受注高は5,327百万円(前年同四半期比2.8%増)、売上高は4,305百万円(前年同四半期比35.6%減)、セグメント利益は796百万円(前年同四半期比35.2%減)となりました。

不動産賃貸事業におきましては、テナント獲得の競争激化は依然継続しているものの、事業の安定化を目指し営業活動を展開いたしました。利益につきましては、テナントビルの修繕を行ったことで減少しました。

この結果、受注高は239百万円(前年同四半期比1.7%増)、売上高は181百万円(前年同四半期比2.6%増)、セグメント利益は89百万円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金及び未成工事支出金等の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,661百万円増加し、20,990百万円となりました。

負債合計は、短期借入金及び預り金等の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,612百万円増加し、14,574百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ49百万円増加し、6,416百万円となりました。また自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.3ポイント減少し、30.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,719	1,963
受取手形・完成工事未収入金等	9,945	10,576
製品	182	216
未成工事支出金	408	1,102
材料貯蔵品	144	188
未収入金	271	343
その他	46	181
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,716	14,570
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,455	1,517
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	993	945
土地	3,449	3,450
リース資産（純額）	7	6
建設仮勘定	161	5
有形固定資産合計	6,068	5,924
無形固定資産		
のれん	110	97
その他	124	109
無形固定資産合計	235	206
投資その他の資産		
投資有価証券	159	151
その他	164	154
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	308	289
固定資産合計	6,612	6,420
資産合計	19,329	20,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,302	5,699
短期借入金	2,826	4,826
未払法人税等	45	4
未成工事受入金	453	693
預り金	1,151	1,436
完成工事補償引当金	18	15
工事損失引当金	23	26
その他	527	389
流動負債合計	11,350	13,091
固定負債		
長期借入金	270	207
繰延税金負債	26	16
退職給付に係る負債	1,037	1,001
その他	277	257
固定負債合計	1,611	1,482
負債合計	12,961	14,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,379	2,379
資本剰余金	1,711	1,711
利益剰余金	2,549	2,622
自己株式	△334	△335
株主資本合計	6,305	6,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	7
退職給付に係る調整累計額	47	30
その他の包括利益累計額合計	61	38
純資産合計	6,367	6,416
負債純資産合計	19,329	20,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	17,245	15,388
売上原価	14,917	13,280
売上総利益	2,328	2,108
販売費及び一般管理費	1,890	1,880
営業利益	438	227
営業外収益		
物品売却益	4	4
その他	14	13
営業外収益合計	19	17
営業外費用		
支払利息	23	22
支払保証料	10	8
貸倒引当金繰入額	13	—
その他	1	10
営業外費用合計	49	40
経常利益	407	204
特別損失		
固定資産除却損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	401	204
法人税、住民税及び事業税	47	42
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	47	42
四半期純利益	354	161
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	354	161

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	354	161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△7
退職給付に係る調整額	△16	△16
その他の包括利益合計	△10	△23
四半期包括利益	343	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343	138
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	土木事業	建築事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,367	6,686	176	17,230	15	17,245	—	17,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,367	6,686	176	17,230	15	17,245	—	17,245
セグメント利益	995	1,228	99	2,324	4	2,328	—	2,328

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	土木事業	建築事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,900	4,305	181	15,388	0	15,388	—	15,388
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,900	4,305	181	15,388	0	15,388	—	15,388
セグメント利益	1,221	796	89	2,108	0	2,108	—	2,108

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び建設資機材のリース等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。